

## &lt;報道発表資料&gt;

令和7年4月11日

## 生徒の個人情報の流出について

県立熊谷女子高等学校において、生徒の個人情報が一時的に外部から閲覧できる状態になる事故が発生しました。

なお、現在のところ、第三者による不正使用等の事実は確認されていません。

## 1 事故の概要

令和6年11月29日（金曜日）から、令和7年4月7日（月曜日）正午頃までの間、職員の情報共有サイトにおいて、生徒1名の個人情報について外部から閲覧できる状況となっていた。

令和7年4月5日（土曜日）、同サイトを閲覧した県民から県に指摘があり、同年4月7日（月曜日）、同校職員が同サイトの設定を確認したところ、同サイトが職員以外にも閲覧できる状態になっていることに気付き、校長に報告され、事故が発覚した。

## 2 個人情報の内容

生徒1名の学年、クラス、出席番号、苗字及び学籍に関する情報

## 3 学校の対応

4月7日（月曜日） 情報共有サイトを限定公開に設定した。

4月9日（水曜日） 当該生徒及び保護者に対して、事故の経緯を説明し謝罪した。

## 4 再発防止策

今後、校長会議等を通じて、改めて全県立学校において個人情報の適正な管理を徹底するよう指示する。